

ぼくのせつ水

松長小

三年

田村

幸大

みなさんは水を出しっぱなしにしたり、むだ使いしたりしていませんか。ちきゅうに水は、たくさんありますが、使える水はほんの一部分です。そんな中、水を出しっぱなしにしたり、むだ使いすると、水がなくなったり、まうかもしれません。日本は、水があたりまえのように使えます。それでも、ちきゅうには、水が空手に入らない国。水が、あず

らしい国が、たくさんあります。このまま、水を出しっぱなしにしたり、むだ使いせたりすると、これだけ水がある日本も、水がなくなってしまうかもしれません。ぼくは、どうすれば、水を出しっぱなしにしたり、むだ使いしたりするのかわかるのかを、考えてみました。まず、どうすれば水の出しっぱなしが少なくなるかを、考えました。水を使ったら後はかくにんする。これだけいい、足りません。こ

れだけい、すぐかくにんがおわり、じめる
力が弱かった時、少したれていることに気づ
けません。なので、家がたいくでできること
は、気づいた時にかくにんしに行くことが大
切だと思ひます。

つぎに、どうすれば水のむだ使いが少なく
なるかを考えました。水は、かぎられている
ので、ひつよういかなのことは使ひません。
よく手あらいの石、けんをつける時、水を出
し、ぱなしでつける人を見かけます。そのや

り方は、つうじょうの手あらいより、水を多
く使つてしまふのが、じつをいへて、石
けんをつけます。
さいごに、古いトイレから、新しいトイレ
にかえるのも、こうでさだと思ひます。さ
いざんのトイレは、せつ水タイアが多いの
で、かえたほうがいいと思ひのぞくが、ひた
めて
みてください。
このようなたいさくをすれば、せつ水には
つながらずと思ひます。